

特別会計

単位：千円

区 分	平成21年度末現在高	平成22年度償還額	平成22年度借入額	平成22年度末現在高
住宅新築資金等貸付事業特別会計	13,468	2,001	0	11,467
国民健康保険診療所特別会計	17,144	5,525	0	11,619
日吉簡易水道特別会計	320,365	18,240	0	302,125
農業集落排水事業特別会計	956,629	82,747	0	873,882
浄化槽市町村整備推進事業特別会計	126,381	7,209	11,800	130,972
水道事業会計	3,661,877	226,079	0	3,435,798
病院事業会計	151,706	16,882	38,200	173,024
合 計	5,247,570	358,683	50,000	4,938,887

基金（一般会計）

単位：千円

基 金 名	平成21年度末現在高	平成22年度増減高	平成22年度末現在高
財政調整基金	561,502	331,788	893,290
減債基金	380	1	381
土地開発基金	(うち現金 174,473) 215,402	523	(うち現金 174,996) 215,925
庁舎建設基金	142,188	100,426	242,614
地域福祉基金	323,800	0	323,800
地域振興基金	350,000	70,000	420,000
交流促進事業基金	150,000	30,000	180,000
廃棄物処理施設整備基金	100,000	200,300	300,300
その他特定目的基金	153,839	△3,520	150,319
合 計	1,997,111	729,518	2,726,629

基本財産

土地	10,468,511.37㎡
建物	102,355.53㎡
有価証券	230,897,000円

一時借入金状況

単位：千円

一般会計	0
特別会計	0

平成22年度決算に基づく鬼北町財政健全化判断比率および資金不足比率について

地方公共団体の財政健全化に関する法律により財政健全化判断比率と資金不足比率を公表します。

【健全化判断比率】

項 目	説 明	22年度	21年度	早期健全化 基準	財政再生 基準
①実質赤字比率	普通会計の実質赤字が標準財政規模に占める割合	—	—	14.85	20.00
②連結実質赤字比率	全会計の実質赤字が標準財政規模に占める割合	—	—	19.85	35.00
③実質公債費比率	一般会計等が負担する借金返済額（企業会計、一部事務組合を含む）が標準財政規模に占める割合	16.6	18.8	25.0	35.0
④将来負担比率	一般会計等が将来負担すべき債務（企業会計、一部事務組合、地方公社、三セクを含む）標準財政規模に占める割合	101.3	133.1	350.0	

※標準財政規模とは、標準税収入額と普通交付税交付額及び臨時財政対策債発行可能額の合計をいいます。

健全化判断比率については、いずれも低いほど財政状況が健全であると言えます。

①、②とも黒字であったため、「数値なし」

③、④は、イエローカードと呼ばれる早期健全化基準と比較するとこれを下回っており、前年と比較すると改善しています。

【資金不足比率】

項 目	22年度	21年度
水道事業会計	—	—
病院事業会計	—	—
日吉簡易水道特別会計	—	—
農業集落排水事業特別会計	—	—
浄化槽市町村整備推進事業特別会計	—	—

資金不足比率については、地方公営企業法適用、非適用のいずれの会計も資金不足は生じていません。